



日本知財学会 第14回年次学術研究発表会

「知的財産法制改正による産業界への影響と今後の課題～新たな知的創造システムの構築に向けて～」

【日 程】平成28年12月3日(土)、12月4日(日)

【場 所】日本大学法学部10号館(東京都千代田区三崎町2丁目3番1号)

【主 催】一般社団法人日本知財学会

【後 援】日本弁理士会

【プログラム(予定)】

◇12月3日(土)

10:00～12:10	●一般発表
13:10～14:40	●分科会・企画・協賛セッション ・「明細書記載要件についての諸外国(米国、欧州、中国)及び日本における判断の比較検討」 ※弁理士継続研修の単位認定申請中 ・「知財実証研究の今:知財のデータ分析は政策・企業戦略に貢献しているか」 ・「標識法に基づく権利の限界点を探る」 ・「小説・TVドラマ『下町ロケット』を知財人財育成にどう活用するか？」 ・「ペット産業の知的財産と専門技術の伝承」
15:00～17:30	●シンポジウム ＜基調講演＞ 小宮義則氏(特許庁長官) ＜パネル討論＞ 石川 浩氏(持田製薬株式会社事業開発本部副本部長) 久留晴夫氏(キヤノン株式会社知的財産法務本部 ブランド・商標意匠担当主席) 木尾修文氏(公正取引員会事務総局経済調査室長) 茶園成樹氏(大阪大学大学院高等司法研究科教授) 高倉成男氏(明治大学法科大学院教授) ※モデレーター
18:00～20:00	●懇親会

(裏面へ)

◇12月4日(日)

10:00～11:30	<p>●分科会・企画・協賛セッション</p> <ul style="list-style-type: none">・「我が国や欧米で強化が進む営業秘密保護法制－各国が危機感を強める中で日本企業のグローバルビジネスが受ける影響とは」・「海外ビジネス展開における知的財産の活用－日本・メキシコを対象としたケーススタディー」・「Fashion Law ファッション・ロー」・「知財教育とアクティブ・ラーニング」・「知財ミックスと知財権ミックスのカバーできる範囲とそのギャップを考える」・「IoT と知財」
12:30～16:30	●一般発表

【参加費と参加申込】

事前参加お申込は日本知財学会のWEB サイトより承ります。(事前申込:11月21日締切)
事前にお申込いただきますと参加費が割引となりますのでぜひご利用ください。

参加費には、2日間有効の参加証と予稿集(冊子及びCD-ROM)代が含まれております。

	事前申込	当日参加
会員参加費	3,000 円	5,000 円
懇親会参加費	5,000 円	7,000 円

※ 協賛団体会員(=弁理士)の方は、会員参加費でご参加いただけます。

【お問い合わせ】

一般社団法人 日本知財学会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-25-1-12 東京理科大学知的財産戦略専攻内

TEL:03-5225-6338

E-mail:office@ipaj.org

URL: <http://www.ipaj.org/>